

政局が風雲急である。それにしてもステーツマンに求められる政策討議よりも権力闘争・選挙絡みの政局に情熱を燃やす政治屋の多い事か。国難、多事多難にも拘らず、この為体には情けなさを通り過ぎて怒りすら感じる。

さて、念願であった孫娘二人を連れて富士登山を敢行した。正に敢行したというのが実感である。家内を連れて登山したのが 2001 年、爾来 10 年余、平素より体力錬成に努めているとはいうものの、流石に体力低下は免れなかった。今まで数回、若い時には須走登山道一合目から 9 時間登頂、御来光を拝して 3 時間で下山した頃が体力抜群だったのだと思う。

8 月 6 日、日中には折悪しく雨も降り、富士の天気予想も雨模様であったが、順延も出来ず、天気が思うよりも早く回復するのではないかとの期待の下に富士登山を決行することに決心した。夕方 5 時ごろ娘宅で皆をピックアップ、家内を含む 5 名で富士吉田口 5 合目へ向かう。次第に天気は回復し、夕焼けも綺麗、富士山もくっきりと確認できたので、喜び勇んで前進したが、生憎とマイカー規制中で山麓からは孫二人とバスで 5 合目へ向かう。家内と娘は河口湖のホテルに宿泊し翌日、富士吉田口麓の現在地、状況によっては須走登山道 5 合目まで迎えに来てもらう計画である。携帯電話が使用できるので連絡は容易である。有難いことだ。



(登山開始直前の心の内の悲壮感は出さずに)



(富士登山完遂の喜びと無事下山の安堵感の絢交ぜになった顔)

2000 発のバスにて 5 合目、高山病対処用の酸素ボンベを購入、準備運動と服装点検をして準備完了、5 合目で体を 1 時間高地に慣らして、2200 少し前に勇躍出発である。今年には登山者が多いと聞いていたが、思ったほどでもない。6 合目までは林の中で部分的には下りもあり孫二人も元気だ。



二人の体調をも考慮してスローペースで登山、7 合目 0015、8 合目 0200、本八合目 0405、八合 5 勺で御来光 0500、(御来光は山頂でと思っており、予定は狂ったが、御来光館という山小屋からだから良かろう。) 頂上 0700、若干休憩(豚汁が温かくて美味しかった!)の後、御鉢巡りに向かう。彼女等は奥の宮郵便局で幾人かに葉書を差し出す。剣ヶ峰の心臓破りの急峻をやっと上って日本最高峰制覇、その碑で写真撮影(思えば前回家内との登山の直後に頂上ドームが撤去されたのだった。)し、1050 頃御鉢の周回終了した。約 1 時間の山頂山小屋のベンチで、寒さに震えての仮眠の後 1230 頃下山開始、二人ともに疲労困憊、休み休みしつつ、もう少しもう少しだからと孫を騙し(?)つつ何とか 1700 下山口着、下山のシャトルバスに飛び乗り駐車場へ、車に乗り込み二人ともバタンキューだ。体力的に須走口までの下山は無理と判断。

彼女らは頑張った。登りは一つ又は二コーナー毎に小休憩を繰り返して、眠気もあり、慣れぬ登山でもあり体力的に厳しかったろうが、健気にもそれを口にする事もなく、小生の指示の通りに登った。徹夜で登山して御鉢巡りをして、高山病になることも怪我をすることなく、登山を投げ出すことも泣き出すこともなく、彼女等の体力・気力の限界に挑戦し、そして見事にそれを完遂したのだから。今回の厳しい富士登山が限界に挑戦することの重要性和、自分が限界だと思ってもまだまだやれるのだということを知ってくれる一助になったのであれば幸いだ。一生の思い出となることだろう。達成感、充足・充実感が次第に満ちて来よう。



富士山の問題点についても認識を深めてくれた筈だし、富士山の環境特性、雪渓・万年雪、凍土から染み出る滴、岩石や土壌の相違、高度によって次第に変化する植生の状況、山小屋の商品価格への上乗せ、トイレ事情等々も彼女等にとって活きた勉強になったろう。



心配した天気は完全に回復し、満天の星に、中天には半月、下界は富士吉田や山中湖、河口湖等の夜景、御来光は5時ちょうど、東の雲の間から現出、思わず拍手を打ち、国家安寧、家族の安全・安心と繁栄を祈念し、家族同報メールで皆と喜びを分かち合う。(少々有難迷惑か?)

下山は登山の半分というのが定説だそうだ。下山の方が彼女等には厳しかっただろう。一人が「足踏まずが痛い」と云えば、他は「脹脛(ふくらはぎ)がパンパンである」と云い、「両足の親指が痛い」とも云う。



先の見えぬ道筋(五合目口までどれ位の距離があるかの標識がないので)故の不安感も加わって限界近くになりつつある。歩き方を色々と工夫させつつ、転ばぬように目の前のことのみ集中すべしと口を酸っぱく言いつつ何とか辿り着く。



それにしても、小生の体力の低下は疑うべくもない。こんな筈ではなかったのに。これでは、嫡孫が中学生になった時に連れて登山するのは無理かな。体力の維持に努めねば。

孫娘制最高峰

星月満天腸道峩

專登徹夜体力摩

拝光制頂歛無極

掲夢克己祈幸多

*腸道（腸のように曲がりくねった道）
*摩ス（ます）…（すり減らす）

